

母子保健・教育

Maternal and Child Health

単位数：2単位

○稲垣卓司 教授：教育学部（心理・発達臨床講座）

1. 科目の教育方針

母親の妊娠・出産から育児、小児期（障害児を含む）、思春期、青年期の発達に関して、医学、心理学、看護学、教育学の各方面から、研究法、問題点と対策について概説する。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 周産期・出産期における母子の健康問題について理解する。
- 2) 子供の発達段階を知り、年齢に沿った親の抱く課題や親子間の課題を理解できる。
- 3) 近年の国内外の母子保健に関わる諸問題を理解する（先進医療、出生前診断などの倫理的問題）。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 母子保健活動における現状と課題について説明できる
- 2) 親子間の健全な育成のための方策について述べることができる。
- 3) 母子保健に関わる関係機関の役割と連携について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義形式を基本とする。

事前に「母子保健」関連の論文を一つ購読し、課題を明らかにしておくこと（講義の後半で発表・討論をおこなう。）

4. 成績評価の方法

講義内容に関するレポート課題で60点以上を合格とする。

5. 使用テキスト・参考文献

講義内で適宜参考文献を紹介する。

- ・日本子ども資料年鑑 2015 （中央出版）
- ・国民衛生の動向 2015/2016年版（厚生労働統計協会）
- ・母子保健マニュアル（改訂7版）（高野陽他編：南山堂 2010）

6. 教育内容

- 1) 思春期、青年期の性に関する意識と行動、妊娠・出産およびその後の母性意識の発達と母子の健康に与える影響について考察し、母子とその家族の健康を保持増進させるためのケアについて学習する。
- 2) 母親の妊娠・出産期における精神的問題について理解する。
- 3) 育児におけるストレスについて理解する。
- 4) 小児期の発達について正常発達と発達障害について理解する。
- 5) 思春期・青年期における、心身の発達並びにこの時期に生じやすい心身の問題について理解を深める。

回	授業内容	担 当
1	オリエンテーション：母子保健の定義と諸問題 国内外の母子保健に関わる諸問題の理解	稲垣卓司
2	周産期・出産期における母子の健康問題 母子の健康に与える影響（アルコール、喫煙、感染症など） 産科合併症	稲垣卓司
3	子どもの正常発達 1.（妊娠から出産まで）：成長と発達	稲垣卓司
4	子どもの正常発達 2.（新生児から幼児 まで） 発達障害について	稲垣卓司
5	子どもの正常発達 3.（児童から、思春期・青年期まで） 障害児の支援（教育・医療・福祉・保健）	稲垣卓司
6	子どもの発達に関わる親の課題	稲垣卓司
7	思春期、青年期の性に関する意識と行動 思春期、青年期に生じやすい心身の問題（精神疾患を含め）	稲垣卓司
8	妊娠・出産およびその後の母性意識の発達 女性のライフサイクルの理解	稲垣卓司
9	母子保健活動とは・・・意義と重要性	稲垣卓司
10	母子保健活動における連携（学校、医療、福祉、行政）	稲垣卓司
11	地域の母子保健活動および子育て支援活動	稲垣卓司
12	親子関係の理解（母子間、父子間、父母間）	稲垣卓司
13	文献研究 1（内外の母子保健に関する文献を購読してきて、 課題の発表と討論を行なう）	稲垣卓司
14	文献研究 2（内外の母子保健に関する文献を購読してきて、 課題の発表と討論を行なう）	稲垣卓司
15	文献研究 3（内外の母子保健に関する文献を購読してきて、 課題の発表と討論を行なう）・まとめ	稲垣卓司